石井造園株式会社 CSR報告書

2014.6.21 発行

〒247-0001
神奈川県横浜市栄区笠間 4-11-5
TEL：045-891-1501
FAX：045-891-2785
http://www.ishii-zouen.co.jp

YOKOHAMA
横浜型地域貢献企業

幸福を共有できる企業を目指して

石井造園株式会社　代表取締役　石井 直樹

代表取締役　石井 直樹

日頃は弊社の活動に対しご理解、ご協力をいただきありがとうございます。今年もCSR報告会の開催、ならびに報告書の発刊ができますのはお支えいただく皆様のおかげだと心より感謝しております。

石井造園株式会社は、大船駅前に観葉植物や花の鉢植えを取り扱う店として昭和41年3月に創業し、今年度創業49年を迎えることができました。

開業当時は室内鑑賞用植物を飾る習慣がようやく芽生えサボテン、盆栽、シクラメン、ポトスなどがよく売れたそうです。いま会社があるこの土地は坪ノ内と称し、苗木の生産圃場として多くの植物を育苗していました。

私は小学生の時から夏休みや長期休暇になると、日中約2時間、灌水のアルバイトをしました。他の子ども達が野球やザリガニ釣りに行く時でも、私には親から任された仕事があることを誇らしく感じ、働きがお金になることを楽しみに感じ、一生懸命やりました。それでも小学生の働きですので夏の炎天下に2時間もやれば、いいかげんな仕事になります。灌水にむらが出て水が良くかからなかった鉢は、容赦なく萎れて枯れます。父には叱られませんでしたが、残念そうに片付けをする姿に、また哀れに枯れたその鉢植えに申し訳ない気持ちでいっぱいでした。私の仕事に向き合う原点がこの土地、坪ノ内にはあるのです。

今年度の活動は小さな活動を含め25のイベントを数えることができており、横浜型地域貢献企業の八雲堂様との協働イベント、プロサッカークラブチーム、ノジマステラ神奈川相模原様との緑地パートナーとして、スポンサー契約など、未来に幸せを繋ぐ活動ができました。年度の後半からは長期のインターンシップを受け入れ、地域を代表するNPOと協働して、盆栽カフェなる文化の創格に取り組むことができました。

生きているアート作品である盆栽は海外での評価が高く「クール・ジャパン」ブームに乗り話題性はあります。しかし日本での愛好家、趣味家は少なく、作製技術の低下と、季節ごとの植物を愛でる文化が衰退している事に憂いを感じています。そこで盆栽を育て慈しむサークルを、地域コミュニティカフェの手法で、運営をNPOの協力をいただきながら展開してまいります。

環境活動においては伐採樹木を薪として、今年も販売させていただき多くのカーボンフリーなエネルギーで冬を過ごしていただいたと思います。また、昨年の報告会の時にお約束した太陽光発電システムの設置は、順調に稼働し、昨年8月からの10ヶ月間で4万3千kWのクリーンエネルギーの発電をしております。

より質の高い公共設備を横浜にお返しするミッションにおいては3件の工事を受注し、ISO品質目標である、86点に二現場が到達することができませんでしたが、平成25年度までに横浜市発注工事は32件中28件が80点以上の評価をいただいております。目標を下げることなくこれからも優良工事施工会社を目指してまいります。

マネージメントレビューを実施し、CSR目標を策定いたしました。これからも幸せを共有する企業を目指して社員一同邁進いたします。

創業50年を来年度に控え、お支えいただきました協力会社の皆様、継続してお仕事をいただいているお客様、いつも見守って下さる地域の皆様に深く感謝いたします。

石井造園株式会社　経営理念

企業活動を通して、幸せを共有する企業を目指す

CSR方針

石井造園株式会社は経営理念にある、幸せを共有する企業を目指すため、生業の全てにおいて、地域志向 CSR 方針を打ち立て事業を展開していきます。

1）活き活きとした活力ある職場環境を作ります。
2）仕入れや発注先は地元を優先し、地域経済の発展に寄与いたします。
3）緑を扱う者として地球環境の改善に貢献します。
4）法に抵触する事はもとより、事後に発覚し格好の悪い事は、絶対にしません。
5）この活動の有効性を監視し、永続的に改善いたします。

CSR 方針に基づき地域社会の一員として、地域に活かされている我々である事を確認し、幸せを共有する地域貢献企業として事業を展開していきます。

平成26年度 CSR目標

- 社員旅行に行く
- ＮＰＯ及び協力業者とのコラボレーション
- 各現場で緑化啓蒙活動を実施し1苗木配布を750本する
- 倫理的行動規範を充実する
- CSR 企業とのコラボレーション
- インターンシップの受け入れ

CSR推進担当として

工事部・CSR推進責任者　**梅津 大輔**

石井造園にしか出来ないCSR活動があります。

造園という枠組の中で、地域やNPO、行政を繋いでゆくことです。

私達はその輪の中心で活動していきたいと願っています。その輪をどんどん広げていき、他CSR企業を巻き込みつつ私達も大きく成長していきたいのです。

今年度は新入社員も増えました。気持ちも新たにし社員一丸となって、栄区を盛り上げて行きます。

ワークライフバランスについて

「よこはまグッドバランス賞」受賞

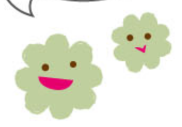
よこはまグッドバランス賞
働きやすく子育てしやすい企業

石井造園は平成25年度、横浜市の「よこはまグッドバランス賞」をいただきました。これは横浜市が市内事業所での積極的な女性の能力活用やワーク・ライフ・バランス（仕事と家庭の両立支援）の推進をはかるために、女性も男性も働きやすい職場づくりを進める中小事業所を認定するものです。

弊社の取り組みは男女共同参画や女性が働きやすく子育てしやすいというよりは、地域貢献に軸足を置いてCSRを忠実に展開しているだけのことだと思います。雇用関係で最も大切にしていることは「やりがいのある仕事の提供」と「遅延なき且つ公平なる利益の分配」で、毎月給料を渡しながら一人ひとりと確認をさせていただいております。やりがいのある仕事を残業も含め思う存分やっていただき、正当に評価され家族を養う生活基盤となるならば、幸せを共有できると思うからです。人間力をUPさせるためにワークとライフはスパイラルアップしていくことだと思います。

今後も働きやすい環境づくりに尽力いたします

緑化基金やっています！



平成20年度より弊社独自に緑化基金を設立しました。基金は緑あふれる地域の学校、施設、団体の活動のために使わせていただきます。基金は、現在弊社の工事・作業・手入れ等の全業務において、請求金額のうち末尾 3 桁の金額（1 ～ 999 円）までを基金として集計し、さらにその同額を弊社からも寄贈します。例えば 123,456円の工事ですと、工事金額から４５６円と弊社から同額４５６円を合計し、912 円を基金として集めます。

年間の合計額を諸団体と相談して、植樹、鉢植えの寄贈他、緑化活動のための費用として大切に利用したいと考えております。22 年度は合計 80,123円が集まり、23 年度は 98,689 円、24 年度は 99,982円、そして 25 年度は111,565 円が集まりました。この金額に弊社が同額を乗せて、223,130 円の基金が集まりました。

小さな活動ですが、地域のために出来ることを一歩ずつ積み重ねてゆきたいと思います。

平成 25 年度 緑化基金に協力いただいた方々

BASF ジャパン㈱／ L・クオーレ湘南深沢管理組合／ RE コーポレーション／青葉さわい病院／青柳邸／秋本邸／荒井沢市民の森愛護会／飯岡邸／飯島邸／イオンディライト㈱／勢山邸／池田邸／池谷邸／生駒植木㈱／石井昭彦氏／石川邸／石田邸／石渡邸／井上邸／岩田邸／岩村邸／上房邸／ウェリスシティー大森タワー管理組合／臼井邸／内田様／エミナンス井土ヶ谷管理組合／遠藤邸／及川邸／大関邸／大船ルーテル保育園／オセアンリフォーム／尾見邸／オルタスクエア㈱／かがやきの街管理組合／影山邸／笠間小学校／笠間中央公園愛護会／学校法人大谷学園／神奈川県立横浜栄高校／鴨居邸／河合邸／関東サッシサービス㈱／桔梗邸／木村邸／久保田邸／グレーシアガーデン希望が丘管理組合／ケーアイケーエンジニアリング㈱／㈳よこはまユース／㈶神奈川県労働福祉協会／後藤邸／小松邸／㈶神奈川県警友会／㈶シニアライフ振興財団／斉藤邸／齋藤邸／坂本邸／佐久間邸／佐々木邸／三洋装備㈱／サンルイ島／シニアライフ振興財団／島宗邸／㈪青木神社／杉山邸／鈴木邸／清興建設㈱／関谷邸／第２大船パークタウン管理組合／高橋邸／田嶋邸／玉木邸／千葉邸／塚田邸／東急建設㈱／東京海上日動火災保険㈱／豊田地域ケアプラザ／長沼八幡社／中野地域ケアプラザ／名瀬たかの台みどりのまちづくり会／並木幼稚園／日動工業㈱／日本交通産業㈱／日本ビルサービス㈱／野庭幼稚園／パークハウス江ノ島管理組合／長谷川邸／畠山邸／ピオニーガーデン／百水庭園建築研究所／日吉邸／福井邸／福田邸／星通商㈱／星邸／細谷様（野沢邸）／松本邸／みかごハウス㈱／三好邸／持田邸／矢島邸／山本邸／横浜市／横浜市グリーン事業協同組合／横浜市立桂台保育園／横浜市立平沼小学校／横浜西ロータリークラブ／代永邸／ライオンズヒルズ横須賀浦賀管理組合／渡辺邸／㈱荒井屋／㈱エビヌマ／㈱大山会計／㈱センチュリー工業／㈱タクエー／㈱タツノ／㈱ニコン／㈱ハマ住センター／㈱丸保／㈲西横浜ひかりのくに／（順不同・敬称略）

寄稿

石井造園のCSRに対する意見

公益財団法人　横浜企業経営支援財団
経営支援部　技術支援課　担当係長　柴田 仁夫

石井造園のCSRへの取組みを見ていくと、経営理念である「企業活動を通して、幸せを共有する企業を目指す」を実践していることがよく分かります。経営理念は掲げただけでは何も生み出しません。企業活動を通じた実践を通してこそ、はじめて意味を持ってくるのです。しかし理念の実践は簡単ではありません。なぜなら実践には社員の間で理念に対する共通理解が必要なのですが、これが容易でないからです。たとえば同社の経営理念には「幸せ」という言葉があります。この「幸せ」という言葉1つとっても持っているイメージは1人ひとり違っています。しかし「誰を」にあたる言葉を補うと、イメージが似てくるのです。この「誰を」がステークホルダーです。同社の社員はステークホルダーに対する共通認識を持っているため、経営理念の実践ができるのです。ではどうして同社は共通認識が持てるようになったのでしょうか。これは石井社長を含め社員全員が真剣なコミュニケーションを重ねてきたからです。これにより社員間及び会社への信頼も深まり、CSRへの取組みを「当たり前」にこなせるようになったのです。ただこうしたCSRへの取組みもステークホルダーからの評価がなければ意味がありません。ステークホルダーからの厳しい意見には、明日につながる言葉が含まれています。こうした評価を大事にし、CSRへの取り組みを更に良いものにしていきましょう。

寄稿

地域と価値を分け合う石井造園

横浜市立大学
都市社会文化研究科教授　影山 摩子弥

1.地域と価値を分け合う

石井造園さんが大事にしていることは、「企業活動を通して、幸せを共有する企業を目指す」です。企業は、地域や社会に生かされています。企業にとって良いだけでなく、地域にとっても良いことを目指すことが、長く経営を続けるコツであることが理解されています。

2.地域を盛り立てる

社員が地域のラジオ体操や栄区民マルシェフェスタに参加していますが、それは地域を盛り立てる一方、地域のために積極的に参加する姿勢が評価され、地域の信頼につながると思います。

また、小学生の企業見学の受入れやくらき永田保育園でのマツボックリやどんぐりなどを使った工作の出前授業は、子どもたちの社会勉強や創作意欲に寄与するだけではありません。子どもや保護者の石井造園に対する親近感を呼びます。造園業を志す若者に育つかもしれません。

3.コラボで効果を高める

横浜型地域貢献企業認定を取得した企業仲間とともに、ノジマステラサッカー場の草刈りを行っています。連携することで1社ではできないことができますし、地域のつながりが生まれます。

4.社員の質の高さ

充実したCSRのためには、自分がすべきことを理解し、前向きに取り組む社員の存在が不可欠です。石井造園さんのCSR報告会や会社見学会では、社員のみなさんが自分の言葉で思いや活動を語っています。思いを持つ社員は、質の高い活動ができるのです。

5.石井造園さんへの期待

地域の人々や企業のつながりは、地域を豊かなものにします。草刈りのように、つながりの価値を生む活動もさらに展開されるとよいと思います。（横浜市立大学CSRセンター長・経済システム論専攻）

〜地域と協働・幸福を共有〜

石井造園の取り組みのご紹介

社会貢献に関する取り組み

弊社職員で長野県栄村の新1年生へ文房具をお贈りしました

　横浜市が推進している「みどりアップ」しています!宣言に賛同し、今年度も苗木配布を行いました。今年度はCSR目標に掲げる750本に届かなかったのですが、600本の苗木を配布できました。また今年度は新しい試みとして、花の種の配布を500袋以上行いました。苗木は自社で受注した公共工事の中で450本、イベントに参加し150本をお配りしました。来年度の配布は750本を目指しております。苗木配布の際には是非お越しください。

　中学生の職業体験では弊社の社員と共に作業を行い「働くとは何か」を考えていただいております。職業体験を行う以前に学生さんに宿題を出すなど、他ではできない体験をしていただいております。また小学生の町探検にも協力し、造園屋さんの仕事は何をしているか?を一緒に体験することで、伝えています。

　引きこもり経験のある若者の自立支援にも力をいれています。今年で4年間継続して実施しており、平成24年度横浜市こども青少年局長表彰を受賞しました。

　弊社では毎週月曜日に会社周辺一斉清掃を行っています。栄区がきれいな町になるように社員及び協力業者全員で心をこめて清掃しています

　復興支援といたしましては、東日本大震災の翌日に長野県栄村も大きな地震で被災しました。この栄村は栄区と同じ栄がつくことが縁で行政、民間が10年以上交流を続けてきました。弊社でも毎年支援物資などを送っており、今年も栄村立栄小学校の新一年生に横浜ならではの文房具セットを寄贈しました。

　学生のインターンシップにも力を入れています。今年度は東京大学から長期インターンシップを受け入れ、「盆栽カフェ」の立ち上げを目標に活動を行っています。

　また栄区の活性化を目標とし、本郷台駅前でイベントを行いました。今年度からは弊社駐車場にて定期的にマルシェを開催し、栄区を盛り上げていこうと考えております。

　弊社では災害や事故等の緊急事態に備え、BCP(事業継続計画)を策定しています。これは災害や事故等が発生し操業度が一時的に低下した場合でも、継続が可能な状況までの低下に抑える、またできるだけ早期に操業度を回復させ、損失を最小限に抑え災害や事故等の発生後でも事業を継続させていく計画です。平常時から緊急事態を想定し備えることで、信頼ある事業を実現してまいります。

ワークライフバランスに関する取り組み

　石井造園では就業規則も充実させています。たとえば育児・介護を行う従業員の時間外労働は一定時間以上しない旨の規約があります。また、時間外勤務申請書の提出を義務づけ、残業時間の大幅な軽減をはかっています。

　そのほか、社会貢献活動と趣味に関する休暇を有給休暇とは別に取得できる制度を設けています。

　その結果横浜市の「よこはまグッドバランス賞」の認定をいただきました。

環境に対する取り組み

弊社屋上に設置したソーラーパネル

　石井造園は環境問題にも取り組んでいます。CSR方針に、「緑を扱う者として、地球環境の改善に貢献します」を掲げ、「横浜市脱温暖化行動方針」(CO-DO30:平成37年度までに、一人当たりの温室効果ガス排出量を平成16年度から30%以上削減する)に共感し、車両においては全台に急発進・急ブレーキをしないエコドライブを掲げており、事務所内の蛍光灯はLEDを導入しています。

　本年度は新たに社屋の屋根に50kW相当の太陽光発電パネルを搭載し、CO^2の排出量は金額換算ベースでマイナスです。ホームページ内には月ごとに水道水と電気の使用量、ガソリン、軽油の使用量からCO^2の排出量を掲示し、情報を公開すると同時に、自社内でも傾向と対策を考えるための資料としています。詳細は弊社ホームページ上の「環境への取り組(http://www.ishii-zouen.co.jp/environment/index.html)をご参照ください。

　ほかに神奈川県が推進するグリーン購入(購入の必要を充分に考慮し、品質や価格だけではなく環境のことを考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入すること)に参加しています。

　弊社では剪定や伐採等で出る木材のごみを再利用するために、木材を細かく刻み、薪として再利用しています。会社の前に積んであり、車1台500円でお配りしています。ごみとして捨てれば運搬や焼却のためのエネルギーを消費しますが、薪として再利用することで新たな資源として活用できます。

情報公開に関する取り組み

　弊社ではホームページを公開し、会社概要、スタッフや施工実績、先述の環境負荷報告を掲示しています。弊社で行った工事の施工例や社員によるブログも公開し、普段あまり馴染みのない、造園屋の仕事や道具等の情報も公開しています。ホームページ内には実際にお客様から頂戴した顧客アンケートも掲載し、お客様の目線から石井造園の仕事ぶりを感じていただけるようになっています。また、社員全員の似顔絵を、仲間のCSR企業に依頼し作成しています。似顔絵は名刺等で活用し、HPに全社員の顔写真の公表を行い、顔が見える商売で安心・安全をご提供しています。石井造園のフェイスブックページを作りました。皆様フォロー及び、いいね!を是非よろしくお願いします。

コンプライアンスと個人情報保護に関する取り組み

　㈳横浜市造園協会や建設業災害防止協会からの情報を意欲的に入手し、無知による法に抵触することを避けるように周知徹底しています。CSR方針にてコンプライアンスをうたい、関連の法令や、その改正に対応できる仕組みを構築し、運用しています。個人情報保護に関する規定を策定し運用しています。

　毎月、社員同士で勉強会を開き、法令等の周知徹底を行っております。

インターンシップを受け入れて

本郷台駅前にてインターンシップ生と

　弊社では未来を担うこども達の教育にも力を入れており、小学生のまち探検、中学生の職業体験等を行っています。中でも今年度はCSR年間目標にインターンシップの受け入れを掲げ、積極的に活動を行いました。

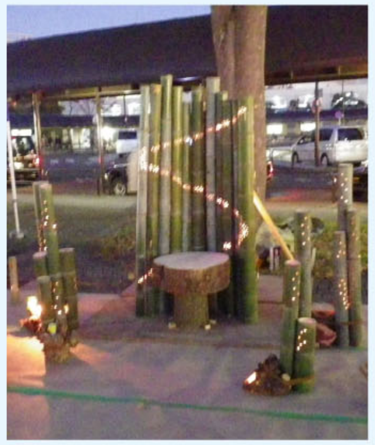
　NPO法人ETIC様と連携をし、高知大学の人間関係形成インターンシップ3人一組で3週間受け入れをするプログラムに参加をしました。こちらは人数が集まらず、残念ながら断念したのですが、今期の夏に向け受け入れ準備をしております。

　また地域未来創造型インターンシップにも参加をし、こちらは東京大学から長期インターンシップ6か月を受け入れました。メインテーマを「盆栽カフェ」の立ち上げとして日々活動を行い、実際に私達と共に草刈りや、庭園を造る仕事をし、働くことの大変さや素晴らしさを学んでもらいました。

　来年度もインターン受け入れに力を入れていきます。学生の皆さんに私達社員も多くのことを学ばせてもらい、一緒に成長してゆきたいです。

ともしびで伝える優しさ

〜キャンドルナイト　イルミネーション〜


本郷台駅前キャンドルナイト

　本郷台駅前では多彩なイベントが行われており、弊社は各種イベントに参加しています。冬に行われる「キャンドルナイト in さかえ 2013(昼)」では、横浜市のみどりアップ計画に賛同しブルーベリーと照手桃(テルテモモ)の苗木を合わせて100株を無料で配布しました。大変好評をいただき、2時間ほどで苗木はなくなってしまいました。

　また夜の部では若手社員が中心となり、伐採材から制作した切り株の椅子と、間伐材の竹から制作した竹灯籠を展示しました。お子様から大人まで椅子に座っていただき写真撮影などで大変賑わいました。また一日を通し弊社独自の緑化基金を募り、募金は合計で5千780円も集めることができました。

　冬に行われた「ほっとイルミネーション&Xmasライブin本郷台」では、ランドスケープSAKAEの一員として駅前広場で一番大きいケヤキにLEDのイルミネーションを設置しました。点灯式ではジャズライブや友好交流協定を締結している長野県栄村のキノコや味噌を仕入れ、さかえ汁も振る舞われました。このイルミネーションは平成25年12月6日から平成26年1月15日まで、本郷台駅前に心温まる空間を演出しました。

地域への貢献

喜びの創造

ついでに、無理なく、達成感のある活動

年間600本の苗木配布を実施

新治市民の森にて来場者への苗木配布

　平成21年、横浜開港150周年にあたり、横浜市環境創造局が「150万本植樹行動」という企画を進めていました。横浜市の活動期間は22年3月まででしたが、弊社では4月までに1千550本を配布し、市の目標の0.1%を担うことができました。またその後も緑を増やしていくための活動を継続し、その後は横浜市の「みどりアップ」しています!宣言に賛同し、現在まで活動を行っています。

　本年度は「キャンドルナイトinさかえ2013(昼)」100本、「桂山公園どんど焼き」100本、「新治市民の森愛護会の冬祭り」100本、「第1回栄区民マルシェフェスタ」150本、「和泉町小谷山公園ほか3公園施設改良工事」150本と、合計で600本の苗木を無料でお配りしました。

　苗木の無料配布を通じて1、2時間の間に、50から200人の市民にみどりの大切さを伝え、植物や小さな命を慈しむことを伝えることができたのは、造園業者としても大変意義のある活動です。通算配布数5千本を通過点として1万本を目指し、弊社だけではなく緑に携わる関連企業と共にこの輪を広げ、横浜のみどりアップに、地域企業の責任として貢献したいと思います。

横浜型地域貢献企業としての連携

あふれる笑顔のノジマステラ神奈川相模原様と

　相模原市に本店をおく家電量販店の株式会社ノジマ様と、横浜型地域貢献企業同士の縁で、株式会社ノジマの女子サッカークラブチームであるノジマステラ神奈川相模原様のホームグラウンド「ノジマフットボールパーク」の植栽管理を弊社が無償で行っています。このことをきっかけに、緑地パートナーとしてスポンサーになりました。緑地の管理だけではなく、スタッフの方々に草刈りの講習会を行ったり、選手の皆さんと一緒に雑草の除去をしたりと楽しく活動をしています。これらの活動を通じて私達は何より、ノジマステラさんの一番のファンとなってしまいました。私達がきれいにしたグラウンドに、選手の皆さんが颯爽と走る姿がとても素晴らしく私達も元気をいただいております。これからも緑地パートナーとしてノジマステラさんを心から応援し、なでしこリーグ昇格を共に目指していきます。